

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	豊科北中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	4	4	2	15	32
生徒数	171	142	140	3	456	

II 研究の概要

1. 研究主題

全校研究テーマ：
自ら課題を持って、進んで追究・表現できる生徒の育成

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- 1 学年数学
- 2 学年数学・英語
- 3 学年数学・英語

数学，英語は理解の差が大きい教科であり，習熟度別の少人数学習の必要性があった。
1 学年英語については，初めて学習する教科であり，クラス単位の授業編成とした。

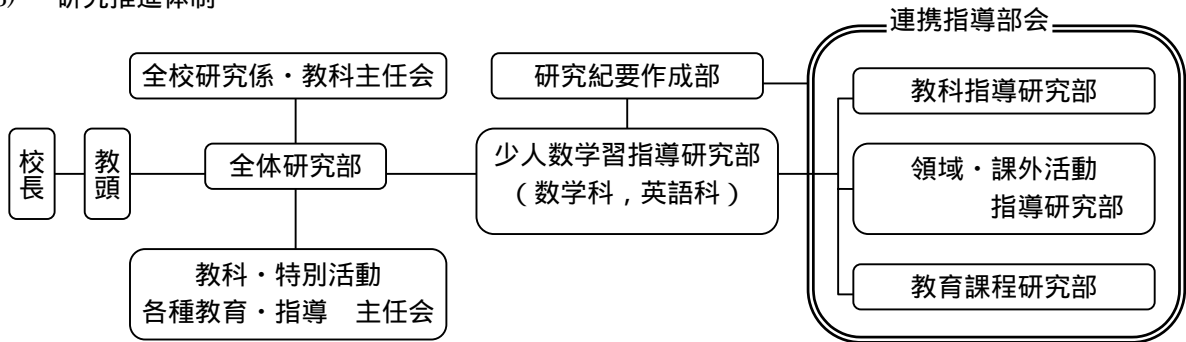
(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テーマ：自ら課題を持って、進んで追究・表現できる生徒の育成 課題解決型の学習 学ぶ喜びの体感 学力の評価を生かした授業 本年はこのテーマの下，特に以下の2点を重点とし，数学科を中心に取り組んだ。 生徒が意欲的に学ぶために，一時間一時間の授業における課題設定のあり方を研究する。 生徒が進んで自己表現できるための課題追究のあり方。</p> <p>数学科研究テーマ：生徒一人ひとりが楽しさを感じ，意欲的に学習に取り組める数学指導のあり方。 ～少人数によるコース別学習を通して～ コース編成：習熟度により2クラスを3コースにして実施。（基礎：15人程度，標準：30人程度，発展：25人程度） 5クラスの1学年は，一方を3クラスを4コース（基礎，標準1，標準2，発展）で編成。 全校研究の重点を受け，同じ学習課題を，コースごとその特性に応じてどう与え展開していったらよいかを重点とした。 6月：係・教科内授業研究 11月：公開授業（全校＋近隣の小中学校） 講演会〔宮崎樹夫先生『自立的な学びのために～確かな学力の基礎として～』〕</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>（検討中） テーマ：自ら課題を持って、進んで追究・表現できる生徒の育成 課題解決型の学習 学ぶ喜びの体感 学力の評価を生かした授業 課題の設定，追究のあり方（継続） 学力の評価とそれを生かした指導の改善</p>
----------------	--

	数学，英語における少人数学習の充実（継続） 全校，全教科での取り組み
--	---------------------------------------

(3) 研究推進体制



III 平成 15 年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

コース別少人数数学数に対する生徒の意識調査

	よく当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	まったく当てはま らない
勉強の内容がよく分 かる	12.5%	75.0%	12.5%	0%
分からないことなど 先生に聞きやすい	18.8%	31.3%	28.1%	21.9%
コース別学習によっ てその教科が好きに なっている	6.3%	34.4%	31.3%	28.1%

2. 今後の課題

- 全校的，継続的な研究の実施
- 適切な評価の方法の作成とその利用法についての研究

IV 学力把握のための学校としての取り組み

- 長野県学力実態調査の実施
- 標準学力検査（CRT）の実施
- 漢字検定，数学検定，英語検定等各種公認検定の受検の推進

V フロンティアスクールとしての研究成果の工夫

平成 15 年 11 月 14 日数学科公開授業を実施

【新規校・継続校】	<input checked="" type="checkbox"/> 15 年度からの新規校	14 年度からの継続校
【学校規模】	3 学級以下	4 ~ 6 学級
	7 ~ 9 学級	10 ~ 12 学級
	<input checked="" type="checkbox"/> 13 ~ 15 学級	16 学級以上
【指導体制】	少人数指導	T.T による指導
	その他	
【研究教科】	国語	社会
	外国語	音楽
	保健体育	その他
		<input checked="" type="checkbox"/> 数学
		美術
		理科
		技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		<input checked="" type="checkbox"/> 有
		無